

● ● The BRIDGE between worlds ● ●

IRUKA
イルカ



IUCN(国際自然保護連合) 親善大使(2004年~)
国連生物多様性の10年日本委員会委員

幼い頃から、私は動物や植物そして鉱物達をこよなく愛してきました。きっとその出会いがあったからでしょう。気がつけば彼らとのふれあいの中で生まれた心を歌に編み、自然と歌うようになっていました。2004年夏、IUCN初の親善大使に任命されてから尚一層、歌を通じて地球上の全ての生き物達との架け橋にならよいなと心に強く思っています。

しかし、日本・アジア地域に於けるIUCNの存在は未だ認知されていない現実があります。国境を越えて今私たちがしなければならない事は何でしょう。それを見つけに一步ずつ歩いていきましょう。「私達は皆、この地球という大きな生きものに住む“細胞同志”なのですから。」 (イルカ公式HP <http://www.iruka-office.co.jp/>)

We Love You Planet! ~ひびけ！惑星に。~

作詩・作曲：イルカ 編曲：石川鷹彦

Across the borders,
we love you Planet!
全てを越え we love you Planet!
I, you see Nature

この風はどこから、吹いて来たのかな…。
生命を育む サバンナからかな…。
人の心は傷つき、萎むけど、
森の香り 想い出せば、微笑むよ。

海から生まれた みんな同じ生命
母なる大地に
護られて・生かされて・
時を重ね・来たんだ！

* IUCN (IUCN) IUCN (IUCN)
Across the borders,
we love you Planet!
IUCN (IUCN) IUCN (IUCN)
I, you see Nature

この楽曲は、イルカ親善大使就任10年を記念して、堀江正彦IUCN地域理事の提案・依頼を受け、イルカが作りました。CD制作に際しては、住友生命保険相互会社の賛同を得て5000枚作られ、全世界に無料配布されました。

かけがえのない 生命が消えて行くよ
懐かしい、里山の様にね
二度と逢えない 鳥や魚たちが
宇宙の流星と 消えて行く

人の歴史は、いくさの繰り返し
それでも朝陽は
全ての・生命を・
もらさず・目覚めさせる

(*くりかえし)

International Union for
Conservation of Nature
International Union for
Conservation of Nature

(*くりかえし)

自然はやさしい だけじゃ ないよね
その厳しさに、泣いても、
明日は立ち上がる、
それこそが、生きる事

(*くりかえし)
I, you see Nature

2014/7/2より
日本含め111カ国へ向け、
大手サイトiTunesにて配信！

ありがとうございます。

このリーフレットの制作など日本委員会の活動は、IUCN親善大使イルカさんのコンサートに設置された募金箱などを通じて寄せられた皆様の御心で作られています。



全ての生きものの つながりあい生きている

自然の力、

政策・科学・産業・社会の現場で活動する
人々の協働が生む力を活かして、
「自然の価値を認め、守る、公正な世界」
を目指しています。



国際自然保護連合

International Union for Conservation of Nature

For a just world that values and conserves nature

写真提供 | (公財)日本自然保護協会、屋久杉自然館、知床博物館、ラムサール・ネットワーク日本、イルカオフィス



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C009309



リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



FSC®森林認証紙、ノンVOCインキ(石油系溶剤0%)など印刷資材と製造工程が
環境に配慮されているグリーンプリント認定工場で印刷しています。

IUCNとは

IUCN(国際自然保護連合)は、1948年に設立された生物多様性保全に関する世界最大のネットワークで、60年以上にわたり、「自然の価値を認め、守る、公正な世界」を目標に掲げて活動しています。

その活動は、200を超える国・政府機関と1,000を超すNGOからなる団体会員、11,000人以上の研究者・専門家からなる6つの専門委員会、そして、45カ国を拠点に事業を展開する1,000人におよぶ事務局・理事(本部事務所はスイス・グラン)の協働によるものです。

IUCN-Jとは

IUCN-J(国際自然保護連合日本委員会)は、IUCNに加盟する日本の団体間の連携を高めることを目的に1980年に設立されました。2016年現在、国家会員、政府機関会員それぞれ1団体と18のNGOで構成されており、渡邊綱男(一般社団法人 自然環境研究センター上級研究員)が会長を務めています。

IUCNと世界の自然保護の情報を提供するほか、愛知ターゲット達成にむけた「にじゅうまるプロジェクト」を展開しています。

日本のIUCN加盟団体一覧

国家会員		外務省
政府機関会員		環境省
NGO会員		
日本自然保護協会		日本動物園水族館協会
WWFジャパン		日本野鳥の会
人間環境問題研究会		自然環境研究センター
日本雁を保護する会		経団連自然保護協議会
生物多様性JAPAN		日本ウミガメ協議会
カメハメハ王国		地球環境戦略研究機関
野生生物保全論研究会		ジュゴン保護キャンペーンセンター
コンセーヴーション・インターナショナル・ジャパン		
ラムサール・ネットワーク日本		旭硝子財団
上闇の自然を守る会		(2016年4月現在)

IUCNの活動

IUCNの活動は、現場(生物種の保護、森林、湿地、海洋)から政策制度(保護地域、環境法、環境教育・気候変動対策)、自然を活かした社会作り(人材育成、貧困撲滅、防災・減災)まで、さまざまな分野にわたります。



生物多様性を守る

私たちが豊かに生きていくために必要な衣食住・医療・文化、それを支える産業や科学は自然の恵みなしには考えられません。長い年月の変化の中で、人々がその恩恵を受け続けてこられたのは、生命(いのち)の多様さ・生命(いのち) 育む場の多様さと多彩なつながり=生物多様性があったから。IUCNの活動の中心はその“生物多様性を守る”ことです。

IUCNレッドリスト

市民や政府が持つ情報をIUCNが作る世界共通の基準を元にまとめた世界の絶滅の恐れのある生物種のリスト(IUCNレッドリスト)を作っています。現在約2万種を超える動植物が絶滅の危機にあることが分かっています。

政府・NGO・研究者。立場も、できることも異なるからこそ、協働したときに強い力を発揮するというIUCNの代表的な活動の一つです。



国際条約への貢献

世界遺産条約・生物多様性条約・ワシントン条約^{*1}・ラムサール条約^{*2}。これらの重要な国際条約に対してIUCNは専門的知見の提供や政府への技術支援を行っています。世界遺産条約においては世界遺産候補の審査という重要な役割を担っています。

1999年からは国連総会にオブザーバーとして参加できる唯一の自然保護団体となり、必要な政策を訴えています。

※1 正式名称 絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約
※2 正式名称 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約

世界共通の目標と人づくり

地球は一つ。しかし、その上に生きる人々の自然環境も経済・社会環境もまったく異なります。IUCNは、世界公園会議や世界自然保護会議など、現場から政策にいたるあらゆるレベルの対話の場を作り上げ、知識・経験を共有して学びあい、生物多様性保全の「世界共通の目標・仕組み」をつくりあげてきました。地味で、分かりにくいけれどとても大事な仕事です。

そのために4年に1度開催される「IUCN世界自然保護会議(World Conservation Congress)」は、時にNature Olympicとも呼ばれ、政府代表、科学者やNGO、企業関係者、地域住民など1万人を超える人々が参加します。